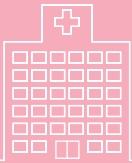


八鹿病院 ニュース



2014年

1月号

地域に暮らす人々と共に
心あたたかな医療をすすめたい



11月2日JAたじま「やぶ地域ふれあい感謝祭」にて
健康相談に応じる新人看護師

●看護部だより

地域の中での看護活動

- 新年のご挨拶
- インフルエンザの感染予防と受診のポイント
- 入院医療費の計算方法がDPC方式に変わります
- トピックス

公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、
医の倫理を基本に、質の高い医療
と優れたサービスをもって、住民
の健康を守り、地域の発展に尽く
します。



当院は敷地内全面禁煙です
ご協力宜しくお願い致します



現場の看護師より皆様へ
取り組みをお知らせする

「看護部だより」

地域の中での看護活動

看護部は、病院基本理念の「地域への貢献」を受け、「看護活動を通して地域と密に連携します」と行動指針に掲げています。看護部としての地域への貢献とは、自分たちの持つ専門職としての力を伝えることと考え、地域の中で様々な活動を行っています。

主な活動としては、手洗いチェックなどの様々なブースを設け実施する「看護週間」や、中・高校生の皆さんに看護の現場を体験していただく「ふれあい看護体験」「トライやるウィーク」など、院内で交流を深める活動を行っています。

また、院内ではなく地域に出向いた活動として、地域のイベントなどでの健康相談、学校や施設への講演活動等、地域の企業や団体と協力させていただいています。年間約20回活動しており、最近では、JAたじま主催の「やぶ地域ふれあい感謝祭」や「宿南文化祭」にも参加させていただきました。

新人看護師7名、初の地域デビュー

11月2日に行われた、やぶ地域ふれあい感謝祭では、新人研修の一貫で、今年当院に就職し



職業体験

未来の担い手 子供たちに向けたお手伝い

毎年5月の「トライやるウィーク」、8月の「ふれあい看護体験」では、短期間ですが、少しでも看護師という仕事にふれていただき将来の職業選択に役立てていただきたいと考えています。



院内イベント 看護週間

看護の心 ケアの心を育む

アロママッサージや手洗いチェック、栄養士・薬剤師・リハビリ技師・看護師による「健康・何でも相談」等を行っています。



まちの保健室

各施設で定期的に 健康相談

気軽に相談できる場として取り組んでいる「まちの保健室」。商業施設での健康相談や保健所でお母さんへの子育て支援活動も行っていきます。



講演活動

学校や施設へ出張

小中学校での思春期研修活動や皮膚排泄ケア認定看護師を中心とした褥瘡対策チームなど地域での講演活動を行っています。

た新人看護師7名が参加しました。「健康相談」で地域の方々と交流し、その中で「コミュニケーション技術」を磨く、こうしたら私達の活動場所へ来ていただけるかの接遇、そして病院でお会いする患者さんと地域でお会いする方との姿の差を感じ、施設内看護に役立てること、つまり、地域支援実習が目的でした。最初は呼び込みの声も小さく、心配していましたが、だんだん度胸がついてきたのか、大きな明るい声が響くようになりホッとしました。参加した新人看護師は、「最初は恥ずかしかったが、楽しくなると同時に、健康相談にあたるについて、もっと生活に適した指導ができるよう学習しなければいけない。頑張ります。」等、明確で力強い決意の言葉が出てきました。怪我をしないようにリハーサルを行い臨んだイベントの餅まきでは、景品の収穫ゼロという残念な結果に終わりましたが、看護師としての収穫はたくさんあったようです。

来場された方の中に「八鹿病院の看護婦さん、また来年も来てね」と昨年の健康相談の用紙を持参された方もおられ感激しました。まさに、私たちは地域の方々に支えられ、そして育てられているんだなと感慨深いものがありました。今後も地域の皆様と交流させていただき、様々なアドバイスやご意見をいただく中で、看護師として、より成長していくことを願っています。どうぞ、よろしくお願い致します。

地域のイベント参加

11月2日 JAたじま「やぶ地域ふれあい感謝祭」で健康相談



新人看護師の笑顔と真剣なまなざしをご覧ください



先輩看護師が心配そうな表情で見守っています。

当院で廃止されたナースキャップは、今や貴重なもの。そこへナースキャップをつけたさくらちゃんが見えたので…



ちょっと拝借して着けてみました！



看護部のマスコット、ゴリラ看護師のさくらちゃんを囲んで地域の方々とハイポーズ！

新年のご挨拶

経営改善、超高齢社会、医師確保、 明るい希望の年へ

公立八鹿病院組合 管理者 細川 裕平



新年あけましておめでとうございます。新年を迎え、一言ごあいさつ申し上げます。

昨年10月に、10年先を展望し、地域の皆様の信頼と黒字体質を取り戻すべく運営方針を決定しました。また今年度は、全職員の取り組みにより、若干赤字幅縮小の予測となりました。

さて今春、診療報酬改定が国で実施されます。今改訂では、我々の得意分野である福祉医療の切れ目ない体制促進に対しプラス改訂を期待したいものです。また八鹿病院は、4月から包括医療費支払い制度(DPC)に移行し、経営分析がしやすくなりますので、経営改善に役立てようと考えています。また、超高齢社会の入り口の2025年(Gate year)まで11年になりました。昨年は、医師会と協力・連携して病

若い戦力、DPC制度で 地域の健康と発展を目指す

公立八鹿病院 院長 宮野 陽介



新年あけましておめでとうございます。今年1年が皆様にとって良い1年でありますように、心からお祈りしています。

当院では昨年4月から、整形外科常勤医の退職で皆さんにご不自由をおかけしてましたが、新しく2名の医師の赴任により診療を再開しました。毎日多くの方が整形外科の外来を受診され、先生方は夜間・休日も含めた救急例にも積極的に対応されており、骨折などの手術も随分と増えています。また、同時に消化器内科の専門医も新たに1名赴任され、精力的に診療を行っています。

以前から医師確保対策の一環として、医学生に奨学金を貸与してきましたが、最近では毎年2名平均の学生がこの奨学金制度を利用しており、現在合計10名になりました。そのうち1期生の2名が八鹿病院で研修を開始しています。今後

床を確保するとともに、今年には訪問看護の新展開を考えています。医療機能維持に必要な医師確保の状況ですが、修学資金貸与と学生総数が7人となり来年度以降は、既卒3名に加えて研修医として八鹿病院で順次研修することとなります。医師確保は、依然厳しい状況ですが、「医学生修学資金制度」を活用した若手医師確保や指導医の確保等に対し病院議会や養父市からご支援をいただき、改善の兆しが見られ始めたことに、この場を借りて感謝いたします。

これら奨学生が当院の新しい戦力として、持続的に地域医療に貢献してくれるものと期待しています。そして、医師を目指す地域の若者達には、是非当院の奨学金制度を活用していただきたいと思います。

また、本年4月から当院ではDPC(診断群分類)対象病院となることを決定しました。この制度は入院費の定額支払制度を基本としていますが、兵庫県でもすでに90以上の病院がこの制度を取り入れており、急性期病院の別名とも言われます。当院でも経営の安定と充実した医療を目指し、急性期病院であり続けるために、この制度に参入することとしました。

八鹿病院は今年も地域の皆様の健康を守り、地域の発展に寄与できるように、病院職員一同頑張っております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

見極めよう！インフルエンザ

インフルエンザと普通の風邪の違い、知っていますか？
疑いがある場合は早めの受診を考えましょう。

インフルエンザの初期症状

急激な発熱、頭痛、
全身の筋肉痛など
全身症状



ふつうの風邪の初期症状

咳、のどの痛み、
くしゃみ、鼻水など
上気道（鼻や喉）の症状



インフルエンザがチェックしてみましょう

- 職場や学校、家族など身近な人でインフルエンザにかかった人がいる
- 急に 38℃から 40℃近い高熱が出た
- 筋肉痛や関節痛がある
- 全身の倦怠感や疲労感が強い
- 強い頭痛がする



受診のポイント

まずは電話で受診相談をしよう

インフルエンザの疑いがある場合は、まず電話で相談し受診方法などを確認しましょう。病院での交差感染を防止し感染の拡大を防ぐことが目的です。

次の方はとくにご注意ください

- 65 歳以上の高齢者や乳幼児
- 妊娠している方
- 慢性的に肺疾患・腎臓疾患・心臓疾患のある方
- 糖尿病など代謝異常の方 など

ウイルス増殖時の検査・服薬が効果的

体内のインフルエンザウイルスは、発症直後と 48 時間以降は少ないために、実際には陽性でも検査で「陰性」となる場合が多くあります。確実な診断のためには、**ウイルスが増殖する発症後 12 時間から 48 時間の間**の検査が望ましいとされています。

また、抗インフルエンザ薬でウイルスの増殖を抑えるには、感染から 48 時間以内に使う事が必要です。重症化を防ぎ、回復を早めるためにも、適切な受診や服薬が重要です。

感染予防のポイント

手洗い・うがい・咳エチケットを怠らない

インフルエンザは、感染者の咳やくしゃみでウイルスが空气中に飛散しそれを吸い込み感染する「飛沫感染」や、ウイルスを含んだ鼻水などが付着した部分に触れて感染する「接触感染」で広がります。手洗い・うがい・咳エチケットは、よく知られている予防法ですが、しっかりと行うことで感染を防ぐことができます。

手洗い

よく泡立てて
15～30 秒以上洗い、
しっかりすすぐ。



うがい

帰宅後は
うがいを忘れずに。



咳エチケット

マスクの正しい装着、咳やくしゃみ時はティッシュで口と鼻を覆いすぐに捨てる、汚れた手はすぐ洗うこと。



インフルエンザの 感染予防と受診のポイント

インフルエンザの怖さは「感染力の強さ」です。
インフルエンザをもらわない、うつさないを心がけ、
正しい知識でウイルスを撃退しましょう。

平成 26 年 4 月より 当院の入院医療費の計算方法が 「D P C 方式」 に変わります

支払い方式の改革だけでなく、医療の質の向上や標準化を図るため実施されるD P C制度。当院は、地域中核病院としての役割を果たすため「DPC方式」を導入することになりました。

D P C 制度と導入の経緯

D P Cとは「診断群分類」のことで傷病名と診療行為の組み合わせによりさまざまな患者さんを分類する方法のことをいいます。D P C制度とは、このD P Cに基づいた医療費の包括（定額）報酬支払いの制度です。D P C制度は、従来の入院医療費（診療報酬）の計算方法である「出来高方式」に代わる新しい制度として、国の医療政策の下、大学病院において平成15年度に開始されました。

従来の「出来高方式」では、同じ病気であっても各病院間に診療行為・入院日数のばらつきが生じたり、医療費に差が生じやすいという問題がありました。そこで、こうした問題を是正し、より質の高い効率的な医療を目指して作られたのが、このD P C制度です。これは、主な傷病名と診療行為が同じであれば、どの病院であってもほぼ同じような治療内容・医療費となるよ

う定額（包括）報酬支払いの仕組みを取り入れた制度で、平成18年度以降、大学病院だけでなく各地の急性期医療を担う病院を対象に段階的に拡大していき、現在では全国で一五〇〇を超える病院に導入されています。

当院では、国のこうした医療政策の意義・将来への方向性と、西南但馬の急性期医療を担う地域中核病院としての役割に鑑み、このたび「D P C対象病院」への参加を決定いたしました。

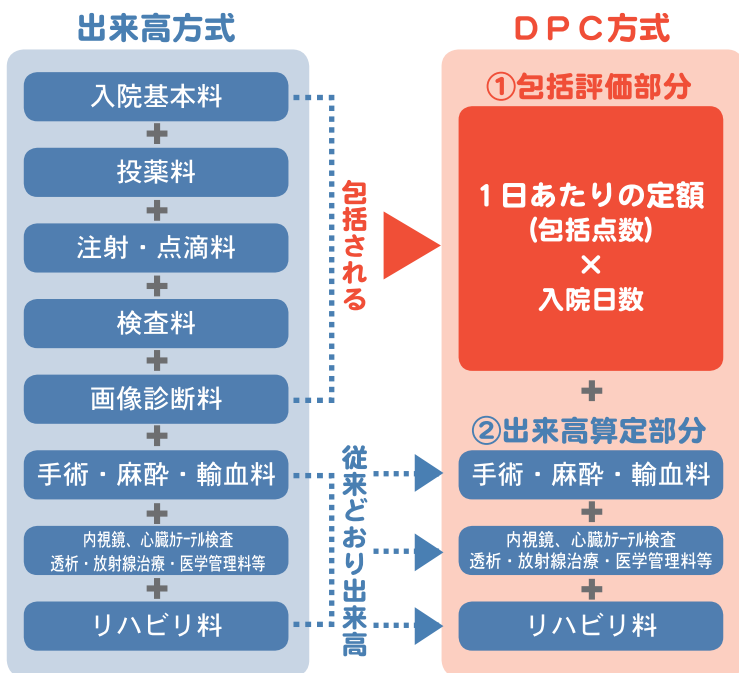
D P Cによる 入院医療費の計算

「出来高方式」は、個々の診療行為ごとに決められた点数を積み上げて単純に合計するものでした。「D P C方式」では、入院医療費は大きく分けて「①包括評価部分」と「②出来高算定部分」の2階建てとなります（下図参照）。

「①包括評価部分」は、患者さんの主な傷病名一つと主な診療行為の組み合わせの

パターンごとに、厚生労働省が定めた1日あたりの定額により計算します。この部分には「投薬」「注射・点滴」「検査」「画像診断」などの費用が含まれており、これらの診療行為をいくら行っても1日あたりの金額は変わりません。一方、「②出来高算定部分」は「手術・麻酔・輸血」「内視鏡検査」「透析」「リハビリ」「放射線治療」などが該当し、

これらは従来どおりの出来高方式で個々の診療行為の金額を積み上げて計算します。つまり、「①傷病名（と診療行為の組み合わせ）」ごとに決められた1日あたりの定額医療費（×入院日数）」と、「②出来高で計算される診療行為の医療費」を合計したものが、「D P C方式」における入院医療費となります。



※食事療養費・個室代・病衣等の実費分は、従来どおり別途ご負担が発生します。

誰が対象になるの？

入院される患者さん（一般病棟）が対象となります。

「DPC」対象の方	● 一般病棟入院 （4病棟・5病棟・6病棟・7病棟・9病棟）
「DPC」対象外の方 （従来通り）	● その他病棟入院 2病棟（回復期リハビリ病棟）・8病棟（障害者病棟・結核病床） 10病棟（療養病棟）・11病棟（緩和ケア病棟） ● 外来受診

※一般病棟で入院される場合でも対象外の場合もあります

- ・ 特定の手術や薬剤を施行した場合など
- ・ 交通事故等による自費入院
- ・ 労災による入院や出産入院（正常分娩）
- ・ 歯科での入院

治療内容も何か変わるの？

いいえ。治療内容は変わりません。

ただし、事前に外来にて検査が可能な場合は、入院までに外来での検査をお願いする場合があります。あらかじめご了承ください。

入院医療費は従来と比べて高くなる？

いいえ。高くなる場合や安くなる場合どちらもありません。

従来の出来高方式と「DPC方式」では計算方法が全く異なるため、決められた主な傷病名によって高くなることもあれば、安くなることもあります。

◎入院中の他医療機関への外来受診（保険診療）が制限されます

ご家族によるお薬診の場合も同様です。持参薬の処方や他医療機関への受診をご希望される場合は必ず事前に病院スタッフまでご相談ください。

◎退院後、転院または老健入所される場合は当院からの退院時処方できません

退院後自宅に帰られる場合は当院からの処方が可能ですが、転院または老人保健施設へ入所される場合は、当院からの紹介状により転院・入所先での処方・管理をお願いすることとなります。

その他、DPCについて、わからないことや不安に思うことがあれば、お気軽にお問い合わせください。

<お問い合わせ> 医事課

複数の疾患を抱えている場合、傷病名はどうなるの？

投じた医療資源を総合的に勘案し
主治医が主な傷病名を1つに決めます

入院医療費を決めるための「傷病名」は、1回の入院で1つだけとされ、その入院で「医療資源（治療にかかった全ての費用）を最も投入した傷病名」とされています。

「胃がん」で胃を全摘出した患者さんが敗血症になった場合、医療資源を最も投じたのが敗血症であれば、最終的に主治医が主な傷病名を「敗血症」と決めます。

包括評価部分の「1日あたりの定額」は、入院期間中はずっと同じですか？

いいえ。入院日数に応じて3段階で下がっていきます。

例えば、ある疾患では、

- ①入院 1日目から 3日目までが 3万円/日
- ②入院 4日目から 10日目までが 2万5千円/日
- ③入院 11日目から 20日目までが 2万円/日

1日あたりの金額と、決められている入院日数は患者さんの主な傷病名と主な診療行為の組み合わせのパターンごとにすべて異なりますが、いずれのパターンでも入院日数に応じて3段階で下がっていきます。3段階目の入院日数を超えると、DPCでの計算は終わり、従来どおりの出来高方式での計算が始まります。

トピックス

11月13日 消防訓練

火災発生時、迅速に対応するため今年も消防訓練を実施しました。今年は夜間に9病棟からの火災発生を想定したもので、火災発生を知らせる非常放送が流れ、緊迫した状況の中で初期消火と患者想定者を安全に避難誘導させることができました。訓練後、実際の病院火災での教訓を交え排煙の重要さなど南但消防本部からの講評が行われました。



八鹿病院のクリスマス 院内クリスマスコンサート&イルミネーション



12月に入りクリスマスムードが高まる中、今年も院内にて各イベントを行いました。12月17日には第41回院内クリスマスコンサートを開催し、八鹿高校音楽部の皆さん、バイオリンデュオのお二人、八鹿病院合唱団の演奏をお楽しみいただきました。サンタクロースから会場の皆様へ手作りのクリスマスカードをプレゼントしたり、全員で「きよしこの夜」を合唱するなど、楽しいひとときとなりました。

また、病棟の4階光庭にクリスマスイルミネーションを点灯しました。(12月から1月末頃まで)今回は、ミニツリーとトナカイで、入院患者さんや訪れた方々に季節を感じていただいています。

副院長 近藤清彦医師

日本神経治療学会「治療活動賞」を受賞!

当院副院長の近藤清彦医師(脳神経内科)が、業績を称えられ、第31回日本神経治療学会において、2012年度日本神経治療学会治療活動賞を受賞しました。

今回の受賞は「筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の包括的ケア体制構築」の業績に対し贈られたものです。

「日本神経治療学会治療活動賞を受賞して」

このたび、「筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の包括的ケア体制構築」の業績で、今年度の日本神経治療学会治療活動賞を受賞することができましたことを、ご協力いただいた院内の多くの職種の皆様と院外の関連機関の皆様へ深謝します。

平成2年以来、ALSという難病の患者さんのよりよい療養生活をめざして、ケアの技術と支援ネットワークの確立を全国に先駆けて行ってきたことが評価されました。

ALSは全身が麻痺しても意識や知能は普通に保たれる病気です。iPS細胞の応用で治療法が開発されるまでは、病気を抱えて生きていく患者さんの身体と心を支えていきたいと思っています。今後とも皆様のご支援をよろしくお願い致します。

副院長 脳神経内科部長 福祉センター長 近藤清彦

